

「福祉の吹田」の後退に なげき、怒る市民の声

住みにくく
なった!

維新政治に
こりこり!

2011年4月に誕生した維新市政は、「行政の維新プロジェクト」を断行し、市民のくらしを守り、高く評価されてきた「福祉の吹田」を真っ向から否定しました。老人医療費助成や福祉バス「きぼう号」などを廃止して高齢者や障害者に負担をおしつけ、使用料・手数料の値上げ、体育施設や学校給食、図書館窓口のアウトソーシングを強行。「『維新』が吹田のまちをすっかり変えてしまった」となげき、怒る声が広がっています。



このまま
続けば

市民のくらしはもろもろ暗く暗く!

痛みと負担をおしつける維新市政

高い! 国民健康保険料と 介護保険料

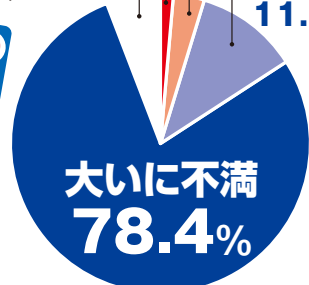
年金生活で毎月ギリギリの生活。国民健康保険料・介護保険料が高く、これでは死ぬと言われているのと同じ。(藤白台60代女性)

「政治とカネ」 問題は ゆるせない!

財政非常事態宣言で福祉を削り、みずからは「政治とカネ」の問題にほおかむり、維新政治はこりこり。(内本町70代男性)

明るい会市政アンケート 9割が「市政に不満」

大いに満足 1.5%
ある程度満足 3.4%
少し不満 11.1%
どちらとも言えない・無回答 5.6%



2014年10月から吹田明るい会が行った市政アンケートには、702名の市民の方に回答をいただきました。

優先的に とりこんでほしいこと^{トップ}5

- 1 保育や学童保育の充実
- 2 介護保険の負担軽減
- 3 国民健康保険の負担軽減
- 4 高齢者施策の充実
- 5 障害者支援策の充実



「きぼう号」を もう一度走らせて!

歩くことしかできない高齢者は、買い物に行くのも病院に行くのも「きぼう号」がなければ大変です。(吹東町70代女性)



保育園や 学童保育の 民営化はやめて!

他市に誇れる保育園や学童保育があるから、子育て世代がわざわざ転居してきています。民営化をしないで。(青山台30代女性)

維新市政の

「行政の維新プロジェクト」の害悪がハッキリ!

市民の声と運動で「住みつづけたい」吹田をつくりましょう

「『福祉の吹田』と聞いて転居してきたのに、ガッカリ」「市民に冷たい維新市政のもとではくらしにくい」。アンケートから浮き彫りになった市民の声です。

少子高齢化と言われている時だからこそ、高齢者とその家族が安心できる施策、子育て世代が「住み

つづけたい」と思えるまちづくりが必要なのに、現市政は「行政の維新プロジェクト」を一方向的にすすめる、市民が大事にしてきた施策を切り捨てました。

これ以上、「福祉の吹田」をキズつけさせるわけにはいきません。「『維新の吹田』はもうゴメン」の共同の運動を広げましょう。



明るい維新市政

2015年2月 No.302 発行・編集責任者 西野千代子
連絡先 吹田市川園町20-1 吹田商工会館内 TEL.090-3057-2335

HP <http://www.suita-akarukai.com/>
明るい革新吹田市政をすすめる会の見解を紹介します。